

南アルプス市立豊小学校 学校だより



梨の花

令和4年度 第5号 6月29日発行

◆学校教育目標 『たくましく 心豊かな 子どもの育成』

豊小学校HP(ホームページ)アドレス <http://www.yutaka.m-alps.ed.jp/>

ありがとうの会

登下校の見守り・紙の回収

6月20日(月)、児童会本部の進行で「ありがとうの会」を行いました。

この会は毎年実施しており、子どもたち自らが、豊の子見守り隊やスクールサポーター、学習支援ボランティアなどの皆さんを学校に招き、日頃の支援活動に対して、感謝の気持ちを伝えています。今回は、齊藤吉弥さん、保坂美知子さん、市川友彦さん、吹野武文さん、花輪絹子さん、甘利 紘さん、小田切美智也さんら7名に参加していただきました。

児童会長がお礼の言葉を述べ、児童代表から6人の方一人一人に感謝状を渡しました。



感謝状の贈呈 市川さんへ



紙の回収 齊藤さんと6年生

また、参加者を代表して、豊の子見守り隊のメンバーであり、学習支援ボランティア(楡形リサイクルの会所属)である齊藤吉弥(きちや)さんから挨拶をいただきました。

挨拶の中で、齊藤さんからは、子どもたちに2つのお願いがありました。ひとつは、積極的に挨拶をしてほしいということ、もうひとつは、これからもリサイクル活動に取り組んでほしいということです。

2つのことは、本年度の児童会が重点をおいて取り組んでいることと重なります。挨拶もリサイクルも、その意義を理解し、習慣化していくことが大切だと思います。これからも、児童会を主体として、取組を進めていきたいと考えています。

ありがとうの会の後、齊藤さんが、集めておいた紙の回収にあたってくれました。集めた紙の代価として、トイレトペーパーをたくさんいただきました。

3年ぶり プール開設

本年度については、市教育委員会より学校の規模（児童生徒数やプール施設の大きさ等）を考慮しつつ、プールの開設において前向きに検討していくようにとの指示が出されました。教職員間で何度も協議を重ねた結果、本校においては、子どもたちの学習の機会を保障していくために、感染症対策を念入りに行いながら、水泳指導を行っていくことにしました。



6月7日（火）、5・6年生と教職員とで、プール清掃を行いました。5年生がプールサイドを担当し、6年生がプールの中をきれいにしました。プール清掃は昨年度も行ったのですが、1年間のよごれを落とすのは大変でした。特に6年生は、たわしやデッキブラシ、水切りワイパーなどで、長い時間、プールの底や壁を丁寧に磨いてくれました。

雨天のため一日延期となり、6月16日（木）、待ちに待ったプール開きを行いました。プール開きに当たっては、子どもたちの代表と教職員代表とで清めの式を行い、プールでの事故が起きないようにお祈りをしました。代表以外の子どもたちは、映像で式の様子を確認し、学級担任からプールを利用する上での注意事項について指導を受けました。

20日（月）、諸条件が整い、1年生、3年生、6年生がプールに入りました。2年間、感染症への対策を優先し、プールの開設を見送ってきたため、子どもたちにとっては、3年ぶりのプールとなりました。プールに向かう子どもたちからは、ワクワク感が伝わってきました。1年生は保育所・幼稚園以来のプールでしたし、3年生にとっては、小学校入学後、初めてのプールとなりました。

プールではマスクをとることになるため、子どもたちは、友達との身体的距離を保ちながら準備体操をしたり、プールに入ったりしました。3年生が入った時には、テレビ局が取材にきました。子どもたちは、ルールを守りながら水になれたり、水泳練習に取り組んだりしていました。会話を控える約束になっており、余計なおしゃべりはありませんでしたが、プールに入った時には、思わず声が出てしまっているようでした。久しぶりの水泳に、子どもたちの笑顔がたくさん見られました。



プール開き



テレビ局の取材



バタ足をしながら水に慣れる

